

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽  
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立ての  
ほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

■ 実施日 2020年5月25日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
8164 1	抗GM-CSF抗体	血清 0.2	A00 (X)	冷蔵 (35日)	4~17		ELISA	1.7未満 (参考値) (U/mL)	

お問い合わせ先：最寄りのエスアールエル営業所までお願いします



## ●抗GM-CSF抗体

自己免疫性肺胞蛋白症の診断補助に有用な検査です。

肺胞蛋白症（PAP：Pulmonary alveolar proteinosis）は、肺胞腔内、終末気管支内にサーファクタント由来物質の異常貯留をきたす稀な肺疾患です。PAPの約90%を占める自己免疫性PAP（aPAP：Autoimmune PAP）は、顆粒球マクロファージコロニー刺激因子自己抗体（GM-CSFAb）の過剰生産によって惹き起こされます。抗GM-CSF中和自己抗体は、GM-CSFと結合することにより肺胞マクロファージでのGM-CSFシグナル伝達が障害され、サーファクタント代謝能の低下を招き、その結果肺胞内には分解されないサーファクタントや細胞断片が蓄積して症状をきたします。

PAPは、自己免疫性、先天性、続発性等に分類され、そのうち、自己免疫性PAPと先天性PAPは、指定難病となっています。自己免疫性PAPの多くは抗GM-CSF抗体が陽性になります。よって、血清中の抗GM-CSF抗体の測定は、自己免疫性肺胞蛋白症の診断補助に非常に有用です。

### ▼疾患との関連

自己免疫性肺胞蛋白症

### ▼関連する主な検査項目

肺サーファクタントプロテインD（SP-D）  
肺サーファクタントプロテインA（SP-A）  
KL-6

### ▼検査要項

検査項目名	抗GM-CSF抗体
項目コードNo.	8164 1
検体量	血清 0.2 mL
容器	A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	4～17日
検査方法	ELISA
基準値	1.7未満（参考値） (U/mL)
検査実施料・判断料	
備考	

## ●参考文献

Nakata K, et al : ERJ Open Research 6 (1) : 00259-2019, 2020.

(検査方法、臨床的意義参考文献)